



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月10日
東

上場会社名 株式会社レイ 上場取引所
コード番号 4317 URL http://www.ray.co.jp
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)分部 至郎
問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)牧田 渉 (TEL)03(5410)3861
四半期報告書提出予定日 平成27年7月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績(平成27年3月1日~平成27年5月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	2,685	△6.6	148	△32.9	136	△37.6	144	31.5
27年2月期第1四半期	2,876	18.5	221	137.6	217	133.0	109	120.6

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 101百万円(△3.2%) 27年2月期第1四半期 105百万円(104.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	11 27	11 21
27年2月期第1四半期	8 62	8 58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第1四半期	8,703	3,469	39.8
27年2月期	8,789	3,426	38.7

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 3,467百万円 27年2月期 3,405百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0 00	—	5 00	5 00
28年2月期	—				
28年2月期(予想)		0 00	—	6 00	6 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日~平成28年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,550	4.3	160	△0.9	140	△2.1	100	141.5	7 83
通期	12,000	4.6	500	△0.4	450	0.2	300	△1.4	23 47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

- 除外2社(社名) 株式会社ティーシー・マックス、株式会社ニッポンムービー大阪
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年2月期1Q	14,328,976株	27年2月期	14,328,976株
28年2月期1Q	1,434,962株	27年2月期	1,544,962株
28年2月期1Q	12,823,057株	27年2月期1Q	12,755,079株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、積極的な金融緩和や政府の経済政策等を背景に、企業収益の改善や雇用情勢の改善など緩やかな回復基調にあるものの、個人消費につきましては、円安による物価上昇などにより個人消費の持ち直しの動きは鈍く、景気の先行き不透明感が拭い切れない状況にあります。

当社グループの主要な市場である広告業界におきましては、企業の先行き経済への期待感や収益改善などもあり緩やかな回復基調で推移しておりますが、広告制作費単価は伸び悩んでおり、企業間の価格競争も増していることから、厳しい経営環境となっております。

このような経済、市場環境のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期にありました消費税増税による駆け込み需要の影響がなかったこと等もあり、2,685百万円(前年同期比6.6%減)となり、営業利益につきましては、売上が減少したことや外注コストが増加したことの影響等により、148百万円(同32.9%減)、経常利益は136百万円(同37.6%減)となりました。四半期純利益につきましては、期初の連結子会社の再編に伴い、繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、連結子会社において繰延税金資産を計上したこと等によって144百万円(同31.5%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(広告ソリューション事業)

S P(セールスプロモーション)・イベント部門は、第1四半期連結会計期間に売上を見込んでいた案件の計上が第2四半期以降にずれこんだことや、人員強化の想定以上の遅れのため、外注コストの増加を抑えられなかったこと等の影響により業績は低調に推移いたしました。TV CM(テレビコマーシャル)部門におきましては、価格競争の影響を受け、売上は苦戦したものの、前連結会計年度において、事業所統合等を行い経費コントロールの徹底を推し進めた結果、前年並みの利益を確保するに至りました。

この結果、広告ソリューション事業の売上高は、1,272百万円(前年同期比8.2%減)、営業利益は53百万円(同29.5%減)となりました。

(テクニカルソリューション事業)

映像機器レンタル部門は、LED(発光ダイオード表示装置)やプロジェクター等の機材投資を進めている効果等もあり、コンサート案件をはじめとして受注が堅調に推移し、業績は好調に推移いたしました。ポストプロダクション部門におきましては、前年同期において消費税増税の駆け込み需要の影響が最も大きかった部門であり、編集スタジオは堅調に稼働しているものの、受注・価格競争が増している影響も引き続いており、業績は低調に推移いたしました。

この結果、テクニカルソリューション事業の売上高は、1,413百万円(同5.1%減)、営業利益は262百万円(同8.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の状況

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて43百万円増加し5,137百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加70百万円、受取手形の増加434百万円、売掛金の減少975百万円、たな卸資産の増加291百万円によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて130百万円減少し3,565百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の減少88百万円によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて86百万円減少し8,703百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて1百万円減少し4,059百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加155百万円、未払法人税等の減少130百万円、賞与引当金の減少94百万円、未払金の増加128百万円、未払消費税等の減少83百万円によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて127百万円減少し1,174百万円となりました。主な要因は、リース債務の減少69百万円によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて128百万円減少し5,233百万円となりました

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて42百万円増加し3,469百万円となりました。これは主に、配当により63百万円減少したものの、四半期純利益の計上144百万円により利益剰余金が80百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の第2四半期(累計)、通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結会計期間はイベント・展示会の開催が少なく閑散期にあたり、秋の展示会シーズンに向けた受注活動・制作期間にあたることを織り込み済みであり、平成27年4月17日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、平成27年3月1日をもって当社の連結子会社でありました株式会社ティーシー・マックス、株式会社ニッポンムービー大阪他2社は、株式会社ニッポンムービー(現 株式会社クレイ)を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	988,196	1,058,665
受取手形	223,115	657,356
売掛金	3,226,849	2,251,403
たな卸資産	417,075	708,688
繰延税金資産	126,327	139,496
前払費用	89,754	107,213
その他	37,604	224,254
貸倒引当金	△15,569	△9,748
流動資産合計	5,093,354	5,137,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	775,777	791,465
減価償却累計額	△170,149	△170,350
建物及び構築物(純額)	605,627	621,114
機械装置及び運搬具	984,782	1,011,945
減価償却累計額	△770,661	△788,239
機械装置及び運搬具(純額)	214,120	223,706
工具、器具及び備品	278,867	282,725
減価償却累計額	△231,828	△235,057
工具、器具及び備品(純額)	47,038	47,667
土地	1,109,883	1,109,883
リース資産	1,682,823	1,716,000
減価償却累計額	△803,180	△909,434
リース資産(純額)	879,643	806,566
有形固定資産合計	2,856,314	2,808,937
無形固定資産		
ソフトウェア	65,609	61,339
のれん	21,971	20,597
その他	7,599	7,590
無形固定資産合計	95,180	89,527
投資その他の資産		
投資有価証券	479,327	391,211
出資金	369	21,830
長期貸付金	8,168	7,538
破産更生債権等	29,425	31,844
長期前払費用	10,006	10,720
敷金及び保証金	201,707	191,344
保険積立金	49,473	49,473
繰延税金資産	101	-
その他	150	160
貸倒引当金	△34,444	△36,862
投資その他の資産合計	744,284	667,261
固定資産合計	3,695,779	3,565,726
資産合計	8,789,134	8,703,056

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,117,083	1,272,387
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	160,800	160,800
リース債務	426,496	420,369
未払法人税等	149,024	18,985
賞与引当金	188,033	93,229
未払金	218,635	346,995
未払消費税等	129,838	46,135
未払費用	58,182	69,104
預り金	15,535	64,931
その他	96,970	66,198
流動負債合計	4,060,600	4,059,137
固定負債		
長期借入金	657,900	630,400
リース債務	510,520	440,956
繰延税金負債	91,443	57,900
その他	41,972	45,392
固定負債合計	1,301,837	1,174,649
負債合計	5,362,437	5,233,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	471,143	471,143
資本剰余金	475,487	481,764
利益剰余金	2,509,653	2,590,342
自己株式	△265,641	△246,728
株主資本合計	3,190,643	3,296,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	190,646	147,198
為替換算調整勘定	24,205	24,264
その他の包括利益累計額合計	214,852	171,462
新株予約権	20,513	-
少数株主持分	687	1,284
純資産合計	3,426,696	3,469,269
負債純資産合計	8,789,134	8,703,056

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	2,876,131	2,685,822
売上原価	1,952,838	1,851,338
売上総利益	923,292	834,484
販売費及び一般管理費	701,911	685,913
営業利益	221,381	148,571
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2,572	2,418
為替差益	-	2,810
保険解約返戻金	5,359	-
貸倒引当金戻入額	39	3,402
その他	1,926	2,258
営業外収益合計	9,897	10,889
営業外費用		
支払利息	6,542	6,004
持分法による投資損失	878	10,951
出資金運用損	4,494	6,303
その他	1,470	197
営業外費用合計	13,385	23,457
経常利益	217,892	136,003
特別利益		
固定資産売却益	287	-
新株予約権戻入益	365	12,483
特別利益合計	652	12,483
特別損失		
持分変動損失	-	497
固定資産除却損	4	21
減損損失	466	-
特別損失合計	471	518
税金等調整前四半期純利益	218,073	147,967
法人税、住民税及び事業税	28,710	15,520
法人税等調整額	79,379	△12,225
法人税等合計	108,090	3,295
少数株主損益調整前四半期純利益	109,983	144,672
少数株主利益	-	93
四半期純利益	109,983	144,578

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	109,983	144,672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	618	△43,442
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,412	58
その他の包括利益合計	△4,793	△43,384
四半期包括利益	105,189	101,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,189	101,193
少数株主に係る四半期包括利益	-	94

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,386,736	1,489,394	2,876,131	—	2,876,131
セグメント間の内部売上高又は振替高	200	76,120	76,320	△76,320	—
計	1,386,936	1,565,515	2,952,452	△76,320	2,876,131
セグメント利益	75,837	287,466	363,304	△141,923	221,381

(注) 1 セグメント利益の調整額△141,923千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「広告ソリューション事業」セグメントにおいて、株式会社ニッポンムービーの株式を取得したことに伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は当第1四半期連結累計期間において27,463千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,272,614	1,413,207	2,685,822	—	2,685,822
セグメント間の内部売上高又は振替高	200	81,921	82,121	△82,121	—
計	1,272,814	1,495,129	2,767,943	△82,121	2,685,822
セグメント利益	53,457	262,594	316,052	△167,480	148,571

(注) 1 セグメント利益の調整額△167,480千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。